2024 リンクサーキット

東北660耐久レース第２戦inリンクサーキット

大会規則書

1. **大会名称**

2024 東北６６０耐久レース第２戦inリンクサーキット

1. **主催者の名称**

主催者　リンクサーキット　　　　後援　東北660選手権　大会事務局

1. **開催場所**

リンクサーキット

福島県福島市大笹生字台山２－２　　TEL：080-5226-8787　　FAX：024-563-4416

1. 長さ：1.560ｍ
2. 走行の方法：左まわり
3. 最大標高差：21ｍ
4. **開催日**

7月14日（日） 5時間耐久レース

1. **参加申し込み**
2. 受付期間

　6月19日（水）〜6月28日（金）

1. 参加料（共済金・消費税含む）

42,000円

1. 申し込み方法

参加申込書および車両申告書に必要事項を記入して事務局へFAXまたはメールで送付し、参加費は銀行振込にて支払う。競技当日は参加申込書と 車両申告書の原本を必ず持参すること。書類と参加費の双方が揃った時点で正式受理とする。なおエントリーリストやタイムスケジュールは公式ウェブサイトで知らせるものとし、参加受理書などの送付は行わない。入場の際はゲートでゼッケン番号を申告する。その際ドライバー全員の入場が無料となる。また参加申込に際して納入した参加料は、いかなる理由があっても一切返却しない。イベントが天候などのやむを得ない理由により中止されたとき、参加料は振込手数料を除いてチーム代表者の口座に返金される。申込および問い合わせ先は下記のとおり。

　〒960-0251福島県福島市大笹生字台山２－２  
　リンクサーキット

FAX:024－563－4416　　　　メール　linkcircuit.2020@gmail.com

　　　　振り込み先： 大東銀行　笹谷支店　普通　１１２６８２２　㈱リンクコーポレーション

1. **イベント内容**

募集台数：25台

耐久レース：練習走行30分／予選20分／決勝300分間(5時間）

1. **ドライバー・チームの参加資格・登録人数**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 過給器 | 規格 | ミッション | タイヤ | 備考 |
| 1クラス | あり | 新／旧 | 関係なし | ハイグリ | タービン交換可 |
| 2クラス | あり | 新／旧 | 関係なし | ハイグリ | タービン交換不可 |
| 3クラス | なし | 新 | 関係なし | セカンド | 改造範囲は東北660選手権３クラスと共通 |
| 4クラス | なし | 新／旧 | 関係なし | ハイグリ | 3クラス以上の改造範囲や旧規格 |

1. 全てのドライバーは４輪運転免許所持者でかつ心身共に健全な者。
2. 参加者は1台の参加車両に対して2名から5名のドライバーを登録しなければならない。
3. ドライバーの追加・変更は、参加受付時までに大会事務局に申請した場合のみ許される。
4. **参加車両**
5. カテゴリー

　　　カテゴリーは６６０ｃｃ以下の軽自動車で、下記の4クラスに分けられる。

　　　　※Sタイヤは禁止で１/2/4クラスは市販ラジアルハイグリップタイヤOK。

　　　　　 ３クラスは市販セカンドグレード、ラジアルタイヤまでとする。

　　　　※主催者が車検において危険とみなした車輌は、出走を認めない場合

※東北６６０耐久学生クラスを３クラスの中のみで設け行なわれる。申込書の3クラスと学生クラスにチェックを入れ、学生ドライバーは全員分の学生証を添付すること。（チーム内に１名は学生以外のエントリーを認められるが25歳未満に限る）

総合仕様

参加車両はクラスの別に関係なく下記の項目を満たすものとする。

全クラスナンバーの有無は問わないが、すべてのナンバー付き車両は音量や排ガスなど　　　　　　が保安基準を満たしていること。ただしレース中における車高はその限りではない。

**注：3クラスは東北660選手権の車両規則書を参照すること。**

【エンジン】

* 1. 当該コースにおいてブローバイガス還元装置のホースを吸気系より取り外す場合は排気量と同容量以上のオイルキャッチタンクを取り付け、オイルがコース上に飛散しないよう対策すること。
  2. バッテリーターミナルは両方にテーピングを施すこと。
  3. NOSやナイトロなどの噴射装置の装着をしてはならない。
  4. レベルゲージはスプリング等で抜け止めをすること。又、フィラーキャップ、ラジエターキャップ等のキャップ類は緩まないよう対策すること。尚、対策の際、可燃素材を使用しないこと。
  5. いかなる車両も排気量は660ccを超えてはならない。

【室内＋保安灯火類】

1. シートベルトは４点式以上を義務付けとする。

ベルト基部は車体に確実に固定すること。尚、車体以外の座席やその支持体（シートレール等）に固定することは禁止とする。

1. 灯火類は正常に作動すること。ガラス製ヘッドライト車はビニールテープを使用し飛散防止用にテーピングをすること。

【ボディ系】

1. オープン車両は6点式以上のロールケージ（運転席まで）の装着を義務付ける。

但し、オープン車両以外もロールケージの装着を強く推奨する。ロールケージの頂点は着座したドライバーのヘルメットより高いこと。

　　　　　注、東北６６０耐久学生クラス参加車両は必ずフロント４点式以上のロー  
　　　　ゲージの装備を義務付ける。購入の際は若干ですが、学割制度を準備しておりますの

で、事務局へお問い合わせ下さい。

1. タイヤとボディはインナーフェンダーも含めて、どんな場合でも接触しないこと。タイヤがボディからはみ出る場合、オーバーフェンダーを装着すること。
2. 車両前後に常時使用可能な牽引フックを装着すること。装着していない車両の出走を認めない。
3. スポイラ－類の装着可。但しスポイラ－類を装着し、当初から取り付けられている牽引フックの使用が困難な場合は、牽引フックを追加すること。
4. ドライバーズシートの変更可。（フルバケットタイプを含む）ドライバーズシート以外のシートの取り外し可。
5. 安全上、支障のない部品の取り外しは認められるが、衝突時に強度が低下する様な軽量化は認められない。
6. ＧＴウィング装着可。但し、翼端がボディ幅よりはみ出してはならない。

【タイヤ・ホイール系】

ホイール変更可。但しセンターロックは禁止とする。

ホイールスペーサーの使用は原則として禁止するが、スタッドボルトを延長している場合は*この*限りではない。尚、タイヤはフェンダーからはみ出さないこと。

【サスペンション、ブレーキ、駆動系】

変更、補強等は認められるが強度が低下するような改造はみとめられない。

リンクサーキットはブレーキの負担が非常に大きいため、必ず強化（耐久用パッドや大容量化など）の対策を行ない、スペアパッドも持参すること。

【ゼッケン】  
ゼッケンは1シーズンを通した固定制とする。番号は0を除く1〜3桁の数字から選び、シーズン前は事務局が指定した期間、もしくは最初の参加申込時に第1～第3希望までを記入し、先着順で大会事務局により決定する。

ゼッケンは大会事務局が3000円で製作する。ゼッケンはラミネート処理した状態でレース日に配布し、その後の管理は参加者が各自で行なうものとする。当該シーズンの終了後に事務局へ返還する必要はない。

ゼッケンは左右ドアに貼り付けを義務づけ、ボンネット上面／ルーフ中央／リヤの3カ所への貼り 付けも推奨する。ゼッケン番号の判読が困難なときは修正を命じられることがあり、従わない場合 はタイム測定を拒否されることがある。

　 ステッカーなどと組み合わせることは認められるが、定められたサイズのベースにはゼッケン番号しか記載してはならず、また番号を判読する障害になる貼り方は認められない。

　 ゼッケンは1年ごとにデザインやスポサーロゴが改められる。必ず当該年のゼッケンデータを使用し、古いゼッケンを使用しての参加は認められない。ゼッケンを持参しない場合は当日に3000円を支払い、後日に製作し参加者へ送付する。その際の送料は参加者の負担とする。

　　【ドライバーの装備】

ヘルメット（ＪＩＳ規格のフルフェイスが望ましい）・レーシンググローブ・長袖・長ズボン（燃えにくい素材の物・レーシングスーツが望ましい）を着用すること。hansの使用も推奨する。

セイフティーネットを使用する場合のみ運転席側窓を開けての走行は認められるが、ネットは確実にしっかり止めてある事。

1. ナンバーなし車両の細則

市販車及びそれがベースで総合仕様に適合していることを条件に下記の改造が許される。

【エンジン系】

排気系の変更は可とするが、燃料給油口と反対の位置に排気の出口を設けること。

その他の改造は自由。

【電装系】

全ての変更は可とするがバッテリーの位置変更については、バッテリーの重量に耐えうる台、またはホルダーを使用して確実に固定すること。尚、車室内に移動する場合は、ドライバッテリーを除き金属板で隔壁すること。

㊟車室とは、乗車する空間でエンジンルーム、燃料タンク、駆動系から完全に隔離されている空間のこと。

【燃料系】

燃料ポンプ、フィルター、プレッシャーレギュレーター、コレクタータンクの変更及び、追加はクラスによっては可とするが取り付けは車室㊟と隔離されていることを条件とする。コレクタータンクの容量は２Ｌ以下とする。

燃料タンクはノーマルか、３５Ｌ以下の安全燃料タンクへの変更は認められるが当初の位置かトランクルームに搭載し、車室と隔離されていること。

燃料給油口はノーマルタンクの場合は市販時の形状と位置を保つこと。

また、安全燃料タンクへ変更した場合のクイックチャージャーカップリングの取り付けは認められない。

1. **参加受付、車両検査、ミーティング**
2. 参加受付

参加者はタイムスケジュールに示された時間に下記のものを提示の上、参加確認を受けなければならない。

●参加申込書および車両申告書の原紙を提出する事、※万一の事を考えて健康保健証を持参しましょう。

1. 車両検査

参加車はタイムスケジュールに示された時間に車両検査を受け、合格しなければならない。

尚、主催者は必要に応じ随時車検を行う事が出来るものとする。

注）大会に出場する車両の変更は、参加受付時までに大会事務局に申し出た場合のみ許可される。車両の変更によるクラスの変更は認められない。

車両検査は出走可能な状態及びゼッケン・トランスポンダーを取り付けた状態でうけること。

1. ドライバーズミーティング

ドライバーは全員、定められた時間にミーティングに出席しなければならない。

**第10条　予選・決勝**

1. 参加者（最低1名）は予選に出走し、ラップタイムの計時を受けること。
2. 何らかの理由により計時を受けることが出来なかった場合、予選結果発表後、大会事務局まで決勝出走願を提出したチームは決勝レースへの出走を認める。出走願を提出したチームが複数の場合のグリッドは大会事務局に提出した順番になる。

**第11条　スターティンググリッド及びスタート手順**

1. グリッド
   1. グリッドは進行方向右側から予戦中に達成されたベストタイム順の２列とする。１台または数台の車両が同一タイムを達成した場合は、先に達成した車両が優先する。
   2. スターティンググリッドに着くことが出来なかった車両が出た場合で、グリッド表が発表される以前の場合のみグリッドはつめるものとする。
   3. スタートだけに限らず、押しがけは行ってはならない。
   4. スタート方法はローリングスタートとする.
   5. スタートの際、ピット出口は閉鎖される。この時ピットに残っている車両は正式スタート後、全車がピット出口を通過するまでスタートは許可されない。
2. スタート手順
   1. スタート進行はスタートまで、３分前、１分前、３０秒前のボードが表示される。
   2. 3分前ボードが提示された後の車両のグリッドへの進入は禁止される。グリッド位置につけることができなかった車両は、ピットからスタートするものとする。

尚、メカニック以外の者はグリッド上から退去すること。

* 1. ３分前ボードが提示された後、ドライバー及びオフィシャルを除き全員グリッド及びサインガードから退去すること。

サインガードは正式スタート後、全車が第１コーナーを通過するまで立入禁止とする。

* 1. １分前ボードが提示された後、ドライバーはエンジンを始動させること。
  2. ３０秒前ボードが提示された後、グリーンフラッグが提示され、セーフティーカー先導によるフォーメーションラップがスタートする。尚、フォーメーションラップは追い越し禁止、一定の速度で各々のポジションを保って１周し、セーフティーカーがピットロードに入り、先頭車両がコントロールラインの近くに達した時、正式スタートとなる。追い越しはシグナルタワー付近のスタートラインを過ぎてから可能となる。
  3. 何らかの理由によりスタートが不可能と判断した場合は、シグナルタワー上で赤旗を掲示し、スタートを延期する。

前記のような場合、競技車両はセーフティーカー先導の元、低速で１周し、元のグリッドに着くこと。

尚、再スタートはフォーメーション開始３分前から進行する。

* 1. フォーメーションラップスタート時にトラブル等により、スタート（発進）が出来ないドライバーは窓から手を高く上げ、スタートが不可能であることを後続車両に伝えること。
  2. フォーメーションラップスタートに出遅れたり、フォーメーションラップ中のスピン等で遅れた場合は、元のポジションに戻ることは出来ませんので、最後尾からスタートするかピットに入りピットスタートすること。

**第12条 セーフティーカー及び赤旗**

1. レース中の事故あるいは天候条件などにより競技の続行が不可能である場合は、赤旗によってレースを一時的に中断する場合がある。
2. レースが続行できないと判断した場合は各ポストで赤旗が提示される。最初に提示されるのはVコーナーのポストであり、確認したら安全な速度を保ちピットロードに戻って整列すること。なおピットイン中の車両はオフィシャルの指示に従い、作業が終わりしだい車列の最後尾へ整列する。
3. 赤旗が提示された時点でピットイン中の車両は、ドライバー交代および作業を継続することは認められる。終了したらオフィシャルの指示に従い隊列の最後尾もしくはピットロード出口に整列する。
4. レース再開の合図はスタートと同様で、セーフティーカーがピットロードに入り、先頭車両が最終コーナーを立ち上がりコントロールラインを通過した後、シグナルタワーでグリーンフラッグが振動表示される。なお競技車両はグリーンフラッグが振動表示されるまでセーフティーカーランと同様のスピードを維持し、スタートラインを通過するまで追い越しは禁止される。
5. セーフティーカー導入時も競技中の時間として計時される。

**第13条　ペナルティ、オレンジボール**

1. 反則スタート、黄旗追い越し等の違反者に対し、黒旗と当該車両のゼッケンがメインポスト下で提示される。この場合、当該車両はピットに入り、オフィシャルの指示に従い、コントロールタワー前のエリアに停止すること。

尚、違反の軽重により、原則として１～１０秒間のペナルティストップとなる。

ペナルティストップ終了後はレースに復帰できるが、ペナルティストップ時のピットインを利用しピット作業を行なうことは出来ないが、エンジンをストールさせ、再始動が出来ない場合はバッテリー交換等の最小限の作業は認める。

1. ペナルティの黒旗を５周以上無視して走行を続けた場合は、当該車両の黒旗を解除し、周回数減算等のペナルティに切り替えられる。
2. オレンジボール、黒旗等がメインポスト下において掲示された車両のチームは、同時にピットサイン（ピットインの指示）を必ず出すこと。

**第14条　ピット及び、ピット作業**

1. ピットは常に清潔に保ち、使用後は必ず清掃すること。

ピットでは、タコ足配線や無理な電線の確保は、火災、不慮の事故などにつながる恐れがあるので、絶対に行わないこと。

1. チームのピットは、必ずピット割り当て表に指定されたピットNo.を使用しなければならない。尚、交換を希望する場合は各チームで交渉後、大会事務局に申し出ること。
2. ピットサインを出すためにサインガードに出入りする際は最短距離を横断し、ピットイン・ピットアウト車両に十分注意すること。また、ピット作業エリア及び、サインガードは18歳未満の者は立ち入ることは一切出来ないものとし、当該ピットについてはチーム代表者及び、監督は上記のことを責任をもって管理しなければならない。
3. 決勝レース中の燃料補給は指定された給油エリアにおいてのみ許可される。なお１回に給油できる量は20Lまでとする。
4. 燃料の補給缶は車検に合格したものを使用すること。

レース時に使用する補給缶はすべて、車検時に持参すること。

（使用する燃料は各自持参すること。（施設内での供給はない））

補給缶は市販されている金属製携行缶で容量は20Lまでとする。ドライバー交代・作業中（給油含む）はエンジンを停止すること。

1. 燃料補給中は１名の者が各チームで用意した消火器を持って待機すること。
2. 燃料補給及び消火器を持って待機する者は、耐火性スーツおよびヘルメットの着用を推奨する。

9. 燃料補給を行う場合、３分間以上のピット停止とする。

　　注）３分の停止時間は、ドライバーが運転席より降車し、ドアを閉めた時点からとする。その際、車両は自己ピット前に完全に停止し（タイヤ４輪が完全に停止し、かつ４輪全てが 路面に接地のこと）エンジンを止めること。又燃料補給は、全ての作業が禁止され同時にドライバーが車内に留まることも禁止される。

10.　給油におけるピットストップなどの相互監視体制

　　　　　 給油作業は自己ピット前で行なうのを基本とし、3分間のピット停止は隣接する別チーム（2台以上エントリーしている同一チームは不可）のスタッフより、消化したことを証明するサインを専用の用紙に記入してもらう。書類はブリーフィング時に配布し、レース終了後に事務局への提出を義務づける。書類やサインに不備があればペナルティの対象となる。

11.　ドライバー交代の相互監視体制

　　　　　ドライバー交代はスタート後の大会時間内で必ず４回以上交代しなければならない、

　　　　　停止時間は設けないが、同じドライバーが連続で乗車する事は禁止とする。

　　　　　その最、給油と同様に相互監視体制にて消化したことを証明するサインを専用の用紙に記入してもらう。書類はブリーフィング時に配布し、レース終了後に事務局への提出を義務づける。書類やサインに不備があればペナルティの対象となる。

**第15条　ピットイン、ピットアウト**

1. ピットインする際は、ヘアピン立ち上がりから右端を走行し、方向指示器により合図すること。
2. ピットアウトし、本コースに合流する際は、ピット出口より第１コーナーまでは右端を走行し、方向指示器によりピットアウトし合流する旨合図をすること。尚、第１コーナーの進入に際しては本コースを走行してきた車両を優先すること。
3. ピットロード出口が赤信号の場合はピットアウトすることは認められない。
4. 決勝中（スタートしてからチェッカーフラッグが振られるまで）の作業はピットロード作業エリアでのみ可とする。また、決勝中パドック（ピット内も含む）に乗り入れた場合、またピット内で作業をした場合はリタイアしたものとみなされ、再度コースへ復帰することは認められない。
5. 安全のためピットロードは1速で走行すること。

**第16条　走行中の厳守事項**

1. コースはいかなる場合でも逆走してはならない。
2. 走行中、ドライバーが故意に他の走行を妨害してはならない。また明らかに重大な事故の発生が予測できる行為を行ってはならない。
3. セーフティネット（市販の物、自作不可）を取り付けていない車両は、運転席側の窓を開けて走行してはならない。
4. **リタイア**
5. ピットでのリタイア

レース中、事故あるいは車両の故障などでその後、その走行の権利を放棄（リタイア）する場合、原則としてピットに停止し、その旨をオフィシャルに届けるものとする。

1. コース上でのリタイア

コースにおいて車両が動かなかった為にリタイアする場合は、安全な場所に停止した後、その地点から最も近いポストにいるコースオフィシャルにその旨を届けなければならない。

また、レッカー車等の補助（オフィシャルの補助も含む）を受けてのコース復帰は不可とする。

1. 意思表示

オフィシャルに届ける前に、ヘルメットを脱ぐなどの態度でその意思を表明することがドライバーとしての義務であるが、負傷その他の理由で意思の表明が出来ない状況にあっては、オフィシャルの判定に委ねる。一般的に車両を放棄した場合リタイアとみなされる

**第18条　レースの再開について**

1. 再スタート時のグリッドは赤旗が掲示される１周前のコントロールラインの通過順位により決定される。尚、２周未満で中断した場合は、元のグリッドでフォーメーションラップからやり直しとなる。
2. ２周以上で赤旗により中断された場合で、再レースを行う場合のグリッドは赤旗掲示１周前の順位により、グリッドが決定される。
3. ２周以上で赤旗により中断された場合で、レース再開が不可能と判断される時は赤旗提示１周前の結果により順位が決定される。
4. ドライバー変更は一切許されない。

**第19条　レース終了**

1. レース終了の合図は、トップの車両がコントロールラインを通過する時にコントロールライン前方のメインポストでチェッカーフラッグが表示される。
2. 決勝レースの終了は、チェッカーフラッグによりトップのドライバーがゴールした後、５分間以内にコントロールラインを通過した車両のみゴールをみなされ、又、経過した時刻を終了とする。
3. タイムスケジュールに示された決勝レースのスタート時間が遅れた場合でも、レースの終了時間は、タイムスケジュールに示された決勝レースの終了時間を超えることはないものとする。
4. チェッカーフラッグの表示を受けた後の追い越しは禁止される。
5. チェッカーフラッグの表示をされた時点でピット出口は閉鎖される。
6. チェッカーフラッグを受けた全車両はコースを１周し、ホームストレートに戻り、オフィシャルの指示に従うこと。正式結果発表まで車両保管となる。

**第20条　順位の決定の必要条件**

1. 順位判定は最終周回を完了したもののみに対して行われる（チェッカー優先）。
2. チェッカーは、本コース上のコントロールライン上のみ受けた事とする。
3. チェッカー旗は、原則として規定のレース時間を経過後トップのドライバーより表示される。但し車両の位置に関係なく定められた時間が経過した時点で表示される場合がある。その場合は、チェッカー旗を表示した前周（チェッカー旗表示直前に全車がレース状態でコントロールラインを通過（完了）した周回の順位）にさかのぼり順位を決定する。
4. 優勝者以外の順位は、フィニッシュラインを通過してチェッカーを受けたもので、周回数の多い順に決定され、同一周回数の場合はゴールラインの通過順位による。（チェッカー優先）ただし、走行周回数が優勝車両の走行周回数の７５％（小数点以下切捨）に達しない車両は順位の認定を受けられない。
5. **参加者の厳守事項**
6. 全ての参加者は、大会中、大会役員の指示に従わなければならない。
7. 許された場所以外での喫煙は厳禁とする。
8. 参加者は、主催者や大会役員及び大会参加者の名誉を傷つける様な言動はしてはならない。
9. 万一事故その他障害が発生した場合、主催者が加入する共済会の範囲及び応急処置以外の責任は負えません。各自、各チームで別途障害保険に加入することを推奨します。尚、負傷したドライバーは必ずメディカルセンターで診断を受けること。診断記録がない場合、共済金がおりない場合がある。

**第22条　賞典**

入賞チームにはトロフィーが授与される。トロフィーの授与される順位は参加台数による。

学生クラスは総合表彰とは別に設け１位から３位までトロフィーが授与される。

【ご参加のみなさまへ】

**リンクサーキットはブレーキの負担が非常に大きいため、必ず強化（耐久用パッドや大容量化など）の対策を行ない、スペアパッドも持参すること。**

ピットエリアで火気（BBQ)の使用は禁止です。BBQエリアをご使用下さい、煙草は喫煙エリアのみです。

※この規則は『東北660シリーズ』に適用されます。他の主催者による同じレギュレーションを用いたイベントに関しては、東北660シリーズの大会事務局および会場となるサーキットとも回答する立場にございません。他イベントに関するご意見やご要望は、それぞれの主催者様へお問い合わせ下さい。

**ご質問は東北660選手権大会事務局（**[**info@mavericks.jp**](mailto:info@mavericks.jp)**）までお気軽に！**